

このたびは、三協アルミ商品をご採用いただきましてありがとうございます。
 商品の組み立てや取り付けには、この施工要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。
 ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
 施工にあたって必ずお守りください。
 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

施工上の注意事項

- ① 指示してあるねじやボルトは全て确实(ねじは止める面に対し、傾かないよう垂直)に締めてください。
- ② 指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ③ 錠は左右勝手兼用です。
- ④ キーは施工終了後、必ず施主様にお渡しください。
- ⑤ 施工後、ボルトおよびねじ類にゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所などがないか点検してください。
- ⑥ 開閉作動や施解錠が正常に行なえることを確認してください。
- ⑦ 作業終了後の商品にキズ、ヘコミ等がないか確認してください。

梱包内容

- 開梱時に種類と数量を確認してください。(部品袋の内容も確認してください。)
- 商品に破損や異常がないか確認してください。
- 万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、販売店または三協立山株式会社 三協アルミ社までご連絡ください。

部 品 名	形 状	数 量						
		両開き LFT-01W	片開き LFT-01S	両開き LFT-M01W	片開き LFT-MB01S	片開き LFT-MJ01S	両開き LFT-02W	片開き LFT-02S
タッチ錠(両開き) (キーを含む) GB1717		1セット	—	—	—	—	—	—
タッチ錠(片開き) (キーを含む) GB1720		—	1セット	—	—	—	—	—
タッチ錠(両開き) (空錠) GB1719		—	—	1セット	—	—	—	—
タッチ錠(片開き) (空錠) GB1722		—	—	—	1セット	—	—	—
タッチ錠(片開き) (空錠) GB1723		—	—	—	—	1セット	—	—
タッチ錠(両開き) (両面シリンダー) (キーを含む) GB1718		—	—	—	—	—	1セット	—
タッチ錠(片開き) (両面シリンダー) (キーを含む) GB1721		—	—	—	—	—	—	1セット
錠取り付け板		2	1	2	1	1	2	1

部 品 名	形 状	数 量						
		両開き LFT-01W	片開き LFT-01S	両開き LFT-M01W	片開き LFT-MB01S	片開き LFT-MJ01S	両開き LFT-02W	片開き LFT-02S
裏板 GA4522		—	1	—	1	1	—	1
戸当り GA3196		1	1	1	1	1	1	1
戸当り受けピース GA3197		1	1	1	1	1	1	1
落とし受け GA5126		3	1	3	1	1	3	1
ラッチガード(両開き用) 外開きの場合のみ必要 GB1726		1	—	1	—	—	1	—
錠取り付け板 取り付け用ねじ 小ねじ なべM5×12		6	3	6	3	3	6	3
タッチ錠 取り付け用ねじ 小ねじ 皿M4×8		6	3	6	3	3	6	3
ラッチ受け 取り付け用ねじ 小ねじ 皿M5×20		—	2	—	2	2	—	2
戸当り 取り付け用ねじ 小ねじ 皿M4×17		2	2	2	2	2	2	2
施工要領書 HZ0220		1	1	1	1	1	1	1

※ラッチガードは外開きの場合のみ必要です。

片開きで外開き施工の場合は、ラッチガード(AT-F75)を別途お求めください。

取り付け手順

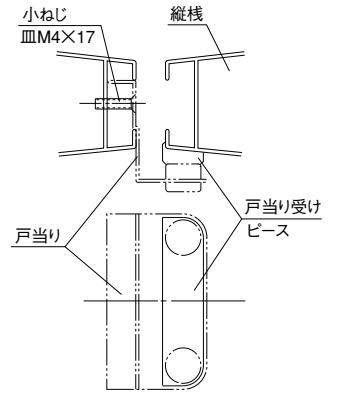
➡ 錠を取り付ける際は、必ずキーをシリンダーからはずした状態で取り付けてください。
錠前取り付け後、キーがシリンダーから抜けなくなることがあります。

1 両開き・内開き用錠前の取り付け

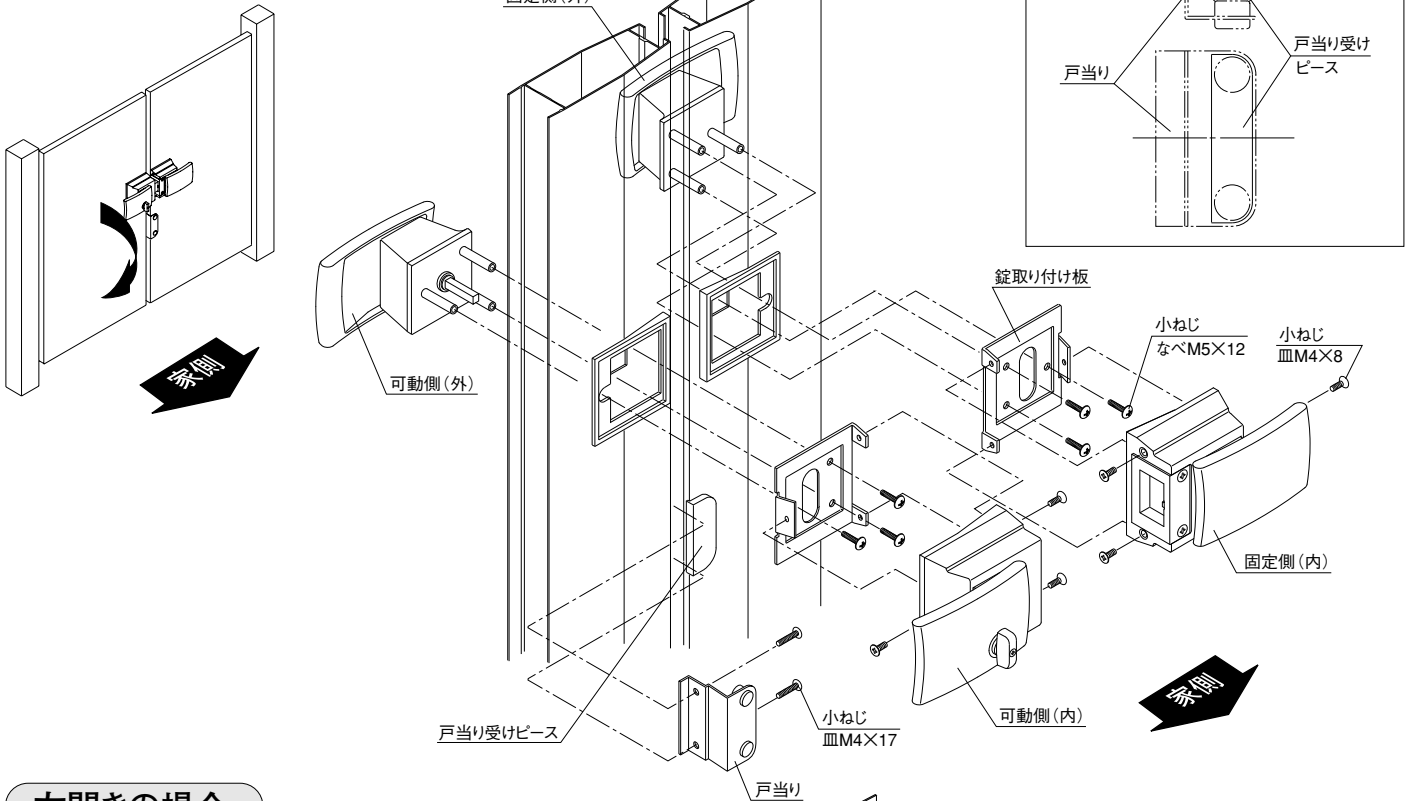
- ① 可動側(外)と錠取り付け板、および固定側(外)と錠取り付け板をねじ止めしてください。
- ② 可動側(外)と可動側(内)、および固定側(外)と固定側(内)を取り付けねじで固定してください。
- ③ 戸当りおよび戸当り受けピースを取り付けてください。

※ 戸当り受けピースはシールをはがした上で、戸当りと同じ高さ確実に貼ってください。

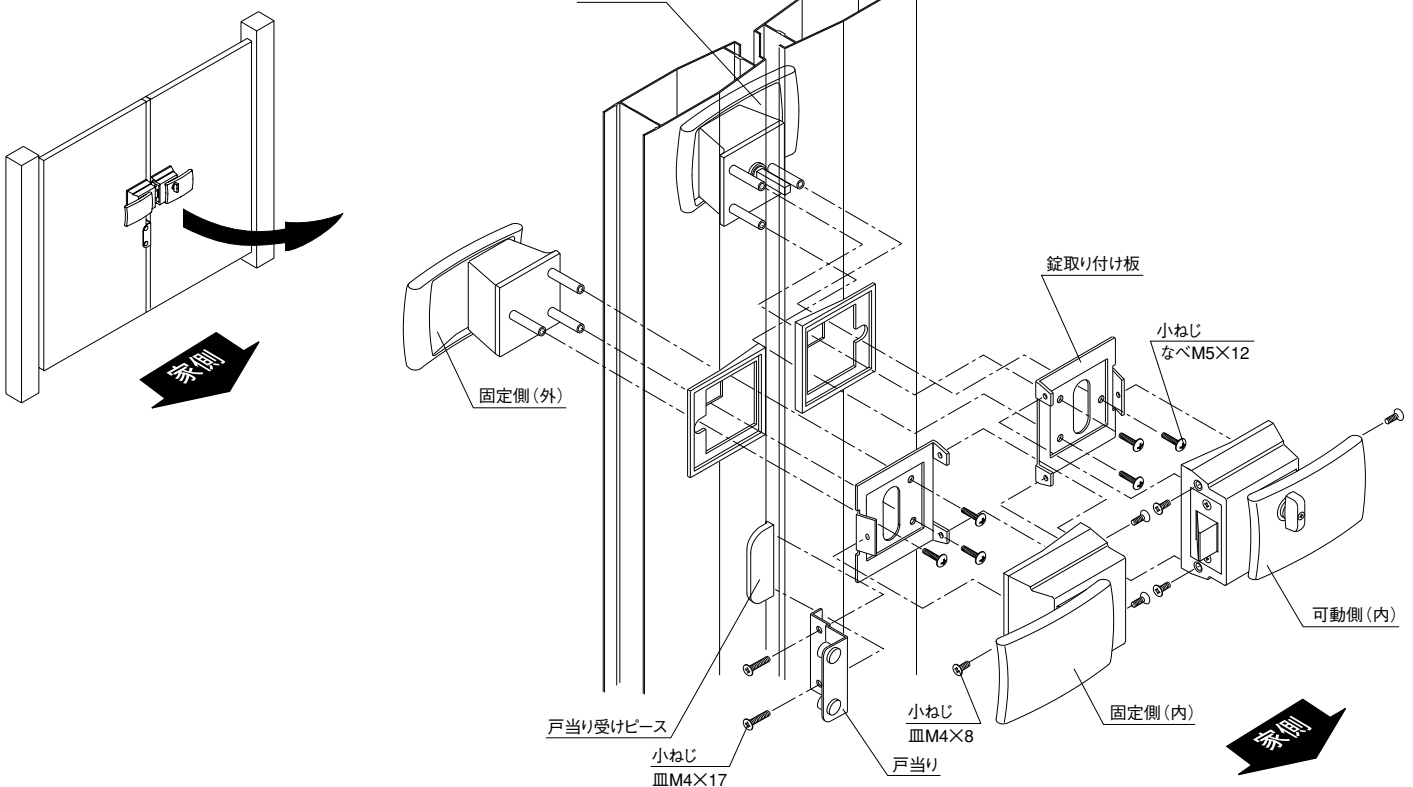
■ 戸当りおよび戸当り受けピースの取り付け位置



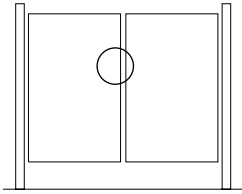
右開きの場合



左開きの場合

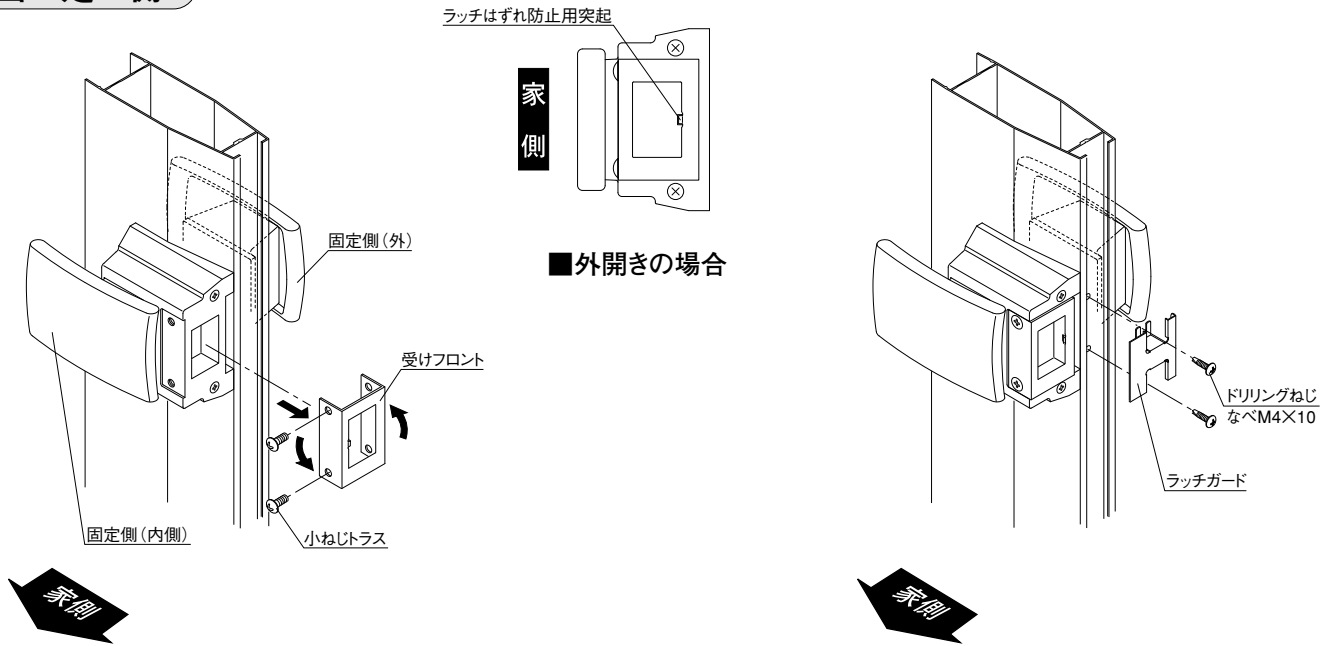


2 外開き用錠前の取り付け



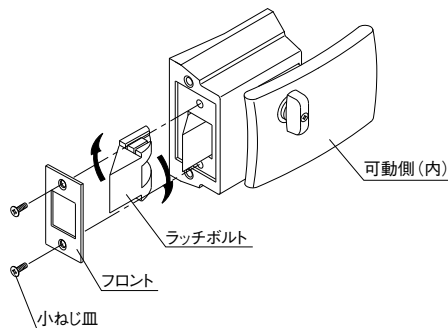
- **固定側** …… 固定側(内)の受けフロントを取りはずし、上下逆に付け替えた後、再びねじ止めしてください。次にラッチガードを図のようにねじ止めしてください。
 ※外開きの場合、必ず受けフロントを組み替えてください。
 ※ラッチはずれ防止用突起が必ず開き側にくるようにしてください。
- **可動側** …… 可動側(内)のフロントを取りはずし、中のラッチボルトを上下逆に付け替えた後、再びねじ止めしてください。
 ➡ 外開きの場合のみ、必ずラッチボルトを組み替えてください。
 扉のスムーズな開閉ができなくなります。

固定側



※ 出荷時は、内開き用の向きになっています。

可動側



3 片開き用錠前の取り付け

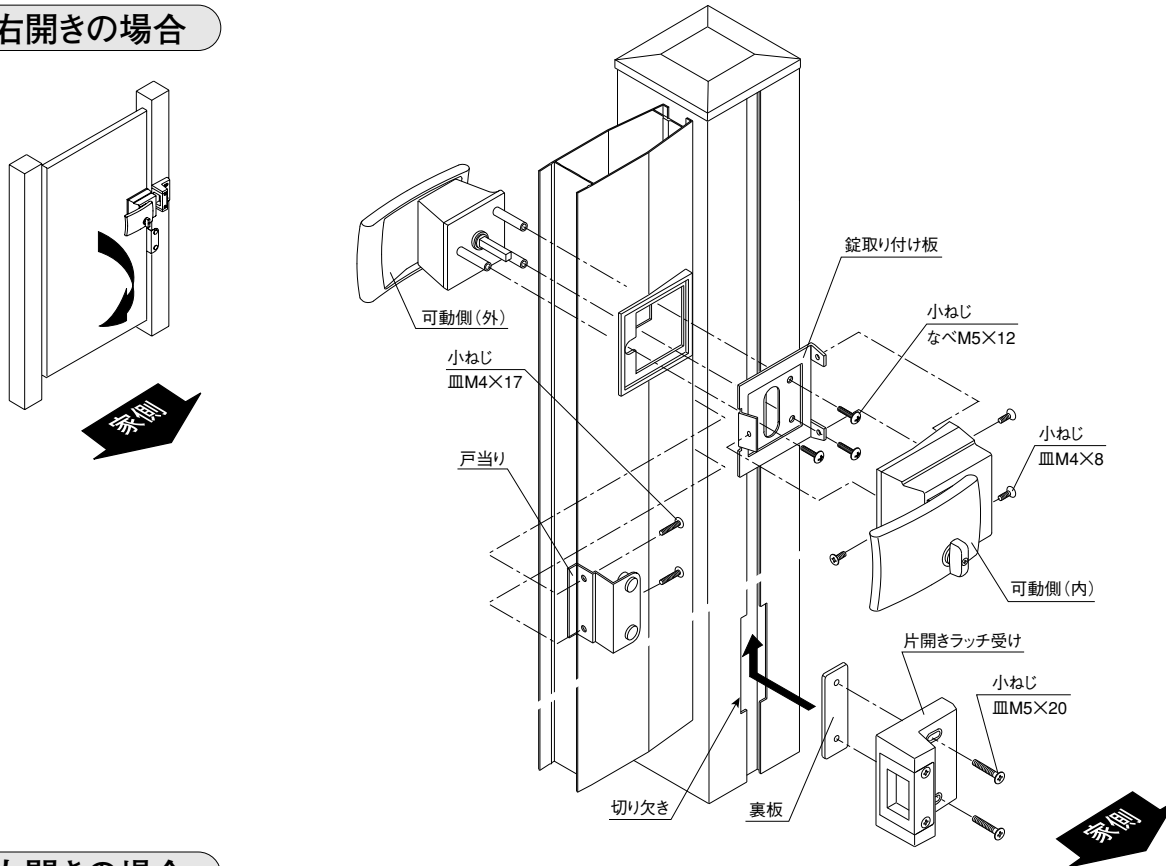
①可動側の錠の取り付け方法は両開き・内開きと同じです。

②片開きラッチ受けと裏板を仮止めし門柱の切り欠きから溝にスライドさせて固定してください。

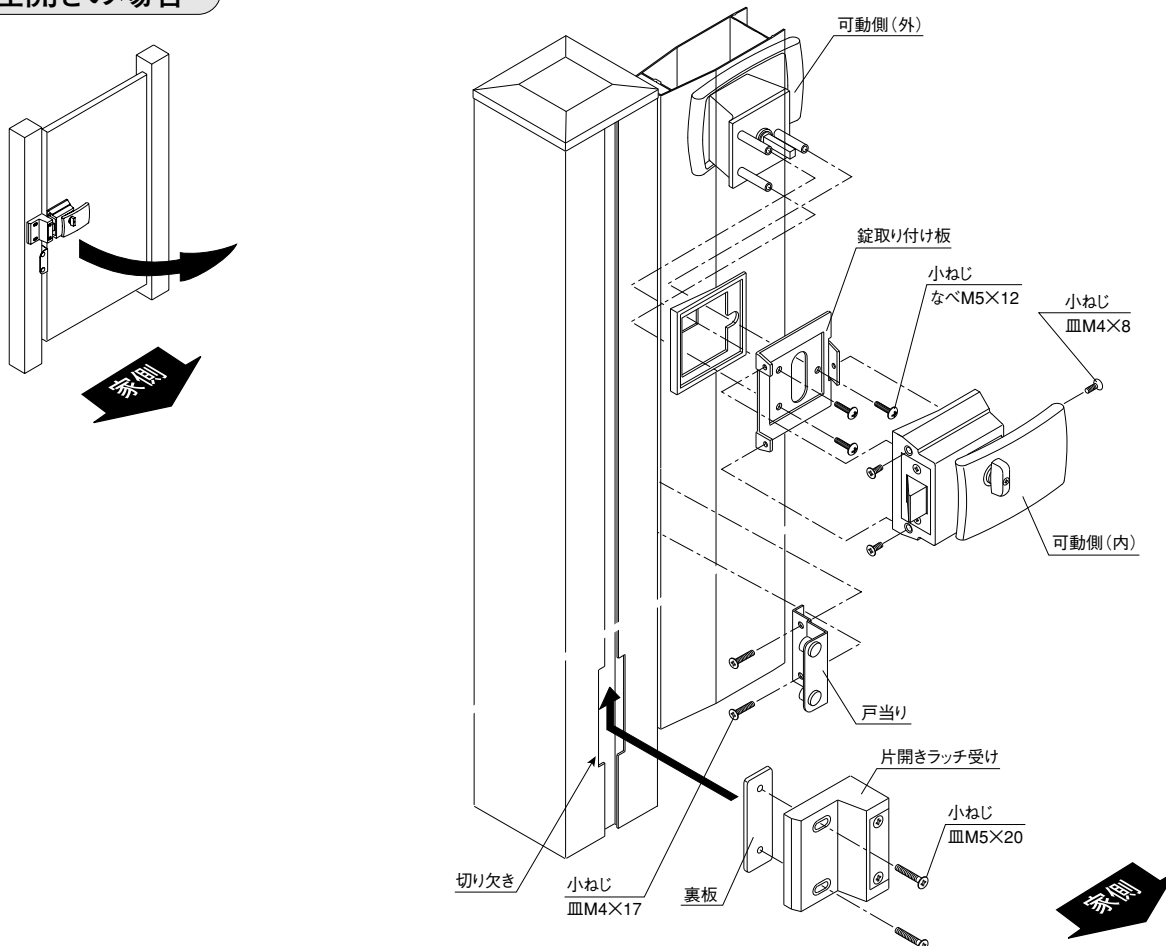
※●外開きの場合は、**2**の手順に従い、ラッチボルトおよびラッチ受けの向きを変更してください。

●外開きの場合は、門扉縦棧に戸当り受けピースを取り付けてください。(内開きの場合は不要)

右開きの場合



左開きの場合

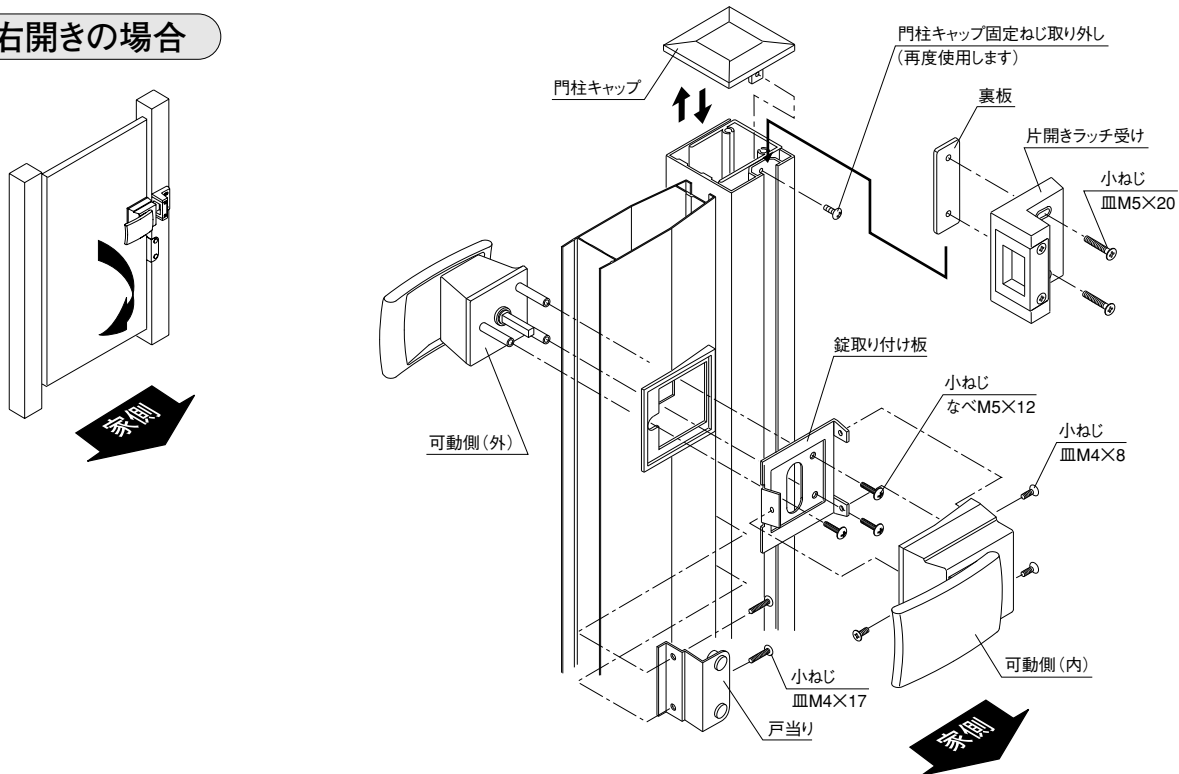


後付け門柱の場合

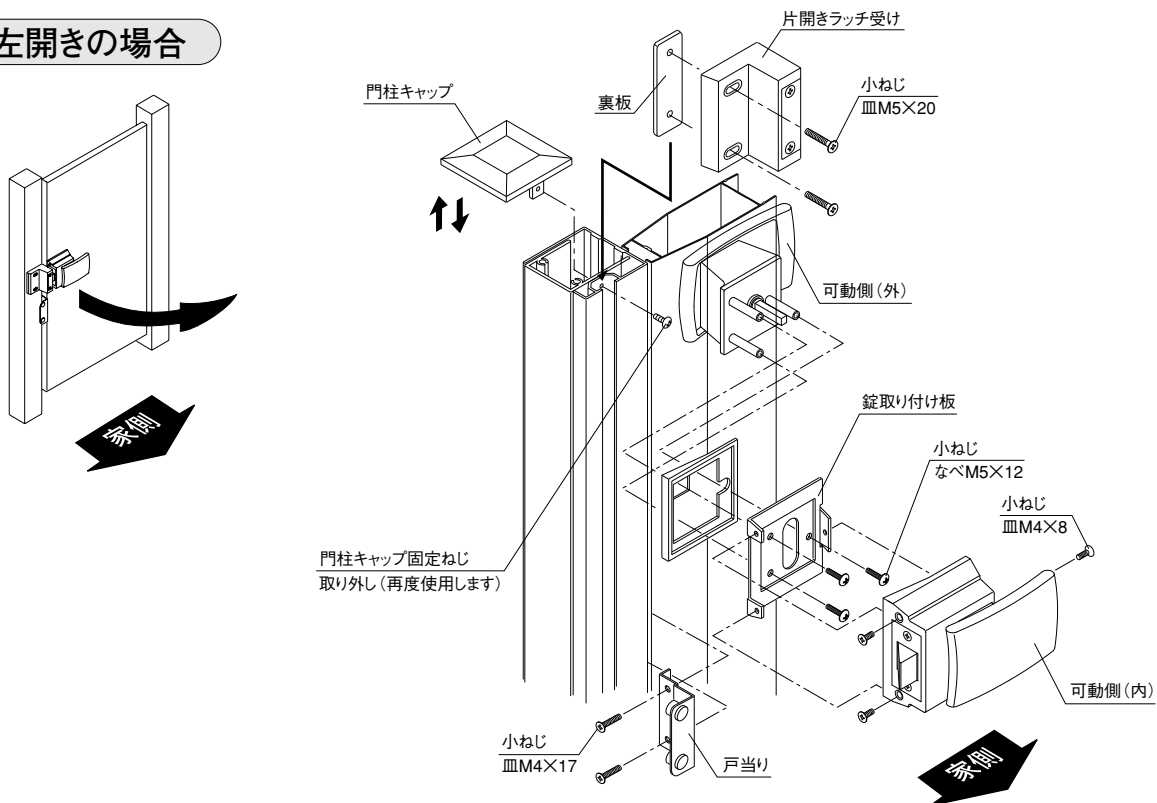
- ① 可動側の錠の取り付け方法は両開き・内開きと同じです。
- ② 片開きラッチ受けと裏板を仮止めし、門柱のキャップを取りはずし溝にスライドさせて固定してください。
- ③ 門柱キャップを取り付けてください。

- ※ ● 外開きの場合は、**2**の手順に従い、ラッチボルトおよびラッチ受けの向きを変更してください。
 ● 外開きの場合は、門扉縦横に戸当り受けピースを取り付けてください。(内開きの場合は不要)

右開きの場合



左開きの場合



4 調整

- ラッチが受けに上手く納まらない場合は、本体扉の丁番あるいは、門柱のひじ金具にて調整を行なってください。(調整手順は、本体扉の施工要領書を参考にしてください。)

